

解説

1 この「画面」は、実際に「私」が見た光景でありません。「私」にとつて子供の頃にルントウから聞いた話ばかりにも強く印象に残っていますので、彼の名前を聞いたとたん、実際に見たもののように「画面」が浮かんだのです。

2 109 ①「新年になればルントウがやって来る。」

130 ① 美しい故郷を見た思い
130 ② 子供の頃の思い出がよみがえった「私」は、どんな思いを抱きましたか。文中から十字で書き抜きなさい。

130 ③ 別れがつかれた。
130 ④ 惜しくも五月は過ぎて、ルントウは家へ帰らねばならなかった。とありますが、このときに表れた「私」とルントウの強い心の結びつきを示す連続した一文を探し、初めと終わりの五字を書き抜きなさい。(句読点を含む)

130 ⑤ ああ、ルントウの心は神秘的の扉で、…如何なる眠めていただけのだ。とありますが、この「私」のルントウに対するどんな気持ちかわかりますか。次から一つ選びなさい。(エ)

130 ⑥ 同じくひかみ 憧憬 憧れ 憧れ
130 ⑦ 惜しくも五月は過ぎて、ルントウは家へ帰らねばならなかった。とありますが、このときに表れた「私」とルントウの強い心の結びつきを示す連続した一文を探し、初めと終わりの五字を書き抜きなさい。(句読点を含む)

130 ⑧ 夏の夜、すいかの番をして、チャイを突く話。
130 ⑨ 夏、海で貝殻拾いをする話。
130 ⑩ 大雪の日に、わなをしかけて小鳥を捕る話。
130 ⑪ 高潮の時分、砂地で跳ね魚が跳ねる話。

130 ⑫ 少年の頃の「私」は、ルントウからどんな話を聞きましたか。順序に四つまでめなさい。

130 ⑬ 少年の頃の「私」がルントウに話した空想の画面。
130 ⑭ 少年の頃の「私」がルントウと遊んだときの画面。
130 ⑮ 少年の頃の「私」がルントウから聞いた話の画面。
130 ⑯ 少年の頃の「私」がルントウに話した空想の画面。
130 ⑰ 少年の頃の「私」がルントウと遊んだときの画面。
130 ⑱ 少年の頃の「私」がルントウから聞いた話の画面。

130 ⑳ 私の胸裏に不思議な面影が繰り広げられたとありますが、それはどんな「画面」ですか。次から一つ選びなさい。(エ)

130 ㉑ 久しぶりに「私」が帰ってきたから
130 ㉒ 親戚が引越していったから
130 ㉓ ホンルがともかわいらしいから
130 ㉔ 異郷の地へ引越すのがつらいから
130 ㉕ 引越しの準備で疲れているから

130 ㉖ 母は機嫌よかつたが、さすがにやるせない表情は隠し切れないかつた。とありますが、母が①「機嫌よかつた」理由と、②「やるせない表情」だった理由を、それぞれ次から選びなさい。

130 ㉗ 母は機嫌よかつたが、さすがにやるせない表情は隠し切れないかつた。とありますが、母が①「機嫌よかつた」理由と、②「やるせない表情」だった理由を、それぞれ次から選びなさい。

130 ㉘ 「私」の家が投宿したことを、擬人法を用いて象徴的に表している一文を教科書P17から探し、初めの六字を書き抜きなさい。

130 ㉙ 屋根には一面

4 採点の中で 故郷

130 ㉚ 再会した親子の姿を見て胸をつかれた
130 ㉛ 心が残って別れるのがつらい。
130 ㉜ 気分がさびいて元気がなくなる。
130 ㉝ 打ちひしがれて、息をなげきやる。
130 ㉞ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 ㉟ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 ㊱ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 ㊲ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 ㊳ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 ㊴ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 ㊵ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 ㊶ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 ㊷ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 ㊸ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 ㊹ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 ㊺ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 ㊻ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 ㊼ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 ㊽ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 ㊾ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

4 採点の中で 故郷

130 ㊿ 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 1 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 2 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 3 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 4 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 5 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 6 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 7 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 8 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 9 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 10 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 11 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 12 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 13 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 14 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 15 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

4 採点の中で 故郷

130 16 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 17 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 18 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 19 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 20 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 21 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 22 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 23 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 24 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 25 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 26 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 27 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 28 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 29 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

130 30 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。
130 31 野放図にしまりがなく、したげ放題な様子。

4 採点の中で 故郷

解説

【3】114 「ルントウは、私の記憶にあるルントウとは似もつかなかった。」とあります。その外見の変わりようが「私」に何かを感じさせたのです。ルントウが言った114⑦「旦那様」という言葉からも、身分や境遇の違いがわかります。

【1】今は隔てのないホテルとシユイシヨンの関係

【118】私も、私の母も、はと胸をつかれた。」とありますがなぜ「胸をつかれた」のですか。文章中の言葉を書きなさい。

昔の「私」がルントウを慕ったように、ホテルはシユイシヨンを慕っているが、彼らもいつか現在の「私」とルントウのようになってしまうのではないかと思ったり。

【118】小説読解 問題解答

【118】母と私とは彼の境を思つたためだ。「とあります。ルントウを苦しめるものとして顔がでないのを、次から二つ選びなさい。

ア 社会の仕組み イ 子供が多いこと ウ 大地震
エ 極端な不作 オ 悪政 カ 治安の悪さ
キ 環境破壊 ク 重税

(2) (1)のようなものが、ルントウをどんな人間にしてみましたか。文章中から一字で書きなさい。

【118】「てく」のぼうみだいな人間

【118】「兄弟の仲」
① 他人 行儀
② 他人 行儀
抜きなさい。

【118】「まあ、なんだって……」という母の言葉から①昔の二人の関係を表す言葉と②現在の二人の状態を表す言葉とそれぞれ四字で書きなさい。

【118】「ア、昔の美しい思い出につながる話。イ、あれから今までの半生の物語。ウ、昔とは変わっている今の生活。エ、昔聞いた不思議な物語の真相。」

【ア】
選びなさい。

【118】「ルントウは何を言いたかったのですか。適切なものを次から一つ選びなさい。

顔	艶 <small>114</small> のい丸顔	わがまはまはる
目	太 <small>114</small> い 節 <small>114</small> くれたたしかも	周 <small>114</small> が赤 <small>114</small> くはれてる
手	血 <small>114</small> 色 <small>114</small> のい丸々	ひび割れた松の幹の上

記憶の中のルントウ 理想のルントウ

【118】「そのルントウは私の記憶にあるルントウとは似もつかない」とありますが、ルントウはどのように変わっていたのですか。文章中の言葉を書きなさい。

【118】小説読解 問題解答

【4】状況の字で 故郷

【118】「古い家は……ほんやりしてしまつた。」から、「私」は故郷の様子や人々の変わりように隔絶の寂しさを感じ、既にその故郷に未練を残していないことがわかります。

【118】「古い家は……ほんやりしてしまつた。」との外見の変わりようが「私」に何かを感じさせたのです。ルントウが言った114⑦「旦那様」という言葉からも、身分や境遇の違いがわかります。

【118】「私」はシユイシヨンを慕っているが、彼らもいつか現在の「私」とルントウのようになってしまうのではないかと思ったり。

【118】「私も、私の母も、はと胸をつかれた。」とありますがなぜ「胸をつかれた」のですか。文章中の言葉を書きなさい。

昔の「私」がルントウを慕ったように、ホテルはシユイシヨンを慕っているが、彼らもいつか現在の「私」とルントウのようになってしまうのではないかと思ったり。

【118】小説読解 問題解答

【118】「兄弟の仲」
① 他人 行儀
② 他人 行儀
抜きなさい。

【118】「まあ、なんだって……」という母の言葉から①昔の二人の関係を表す言葉と②現在の二人の状態を表す言葉とそれぞれ四字で書きなさい。

【118】「ア、昔の美しい思い出につながる話。イ、あれから今までの半生の物語。ウ、昔とは変わっている今の生活。エ、昔聞いた不思議な物語の真相。」

【ア】
選びなさい。

【118】「ルントウは何を言いたかったのですか。適切なものを次から一つ選びなさい。

【118】「ルントウの息子のシユイシヨン(水生)のことをたどって、な」と表現していますか。文章中から九字で書きなさい。

【118】「三十年前のルントウ」

【118】「ルントウは私の記憶にあるルントウとは似もつかない」とありますが、ルントウはどのように変わっていたのですか。文章中の言葉を書きなさい。

【118】「そのルントウは私の記憶にあるルントウとは似もつかない」とありますが、ルントウはどのように変わっていたのですか。文章中の言葉を書きなさい。

【118】「ルントウの姿があまりにも変わり果てていたので、口をきけなかつたのはなぜですか。考えて、簡潔に書きなさい。

【118】「旦那様がそれは……口からは出なかつた。」とありますが「私」震したのはなぜですか。次から一つ選びなさい。(1)

【118】「旦那様……」といふルントウの言葉を聞いて「私」が「身震した」のはなぜですか。次から一つ選びなさい。

【118】「旦那様……」といふルントウの言葉を聞いて「私」が「身震した」のはなぜですか。次から一つ選びなさい。

【118】「旦那様……」といふルントウの言葉を聞いて「私」が「身震した」のはなぜですか。次から一つ選びなさい。

【118】「旦那様がそれは……口からは出なかつた。」とありますが「私」震したのはなぜですか。次から一つ選びなさい。

【118】「旦那様……」といふルントウの言葉を聞いて「私」が「身震した」のはなぜですか。次から一つ選びなさい。

【118】小説読解 問題解答

【4】状況の字で 故郷

解説

E4 (2) 「私」の118⑨「おだの……生活」とは、故郷から遠く離れた地で生きる力が衰える生活です。環境や社会状況によって感情を表せなくなる生活です。他の人の119①「やけを……生活」とは、ヤシおばさんのように自暴自棄になって社会のルールを守らなくなる生活です。

5 「私」の119②「彼らは新しい生活を……新しい生活を。」という希望は自分勝手に理想として、ものによすぎないと思つたのです。

6 最後の一文「もともと地上には……道になるのだ。」から考えましよう。

主人公は、	ホルム	や	シヨ	イ	シヨ
ソ	な	ど	若	い	世
代	を	見	て	、	彼
ら	が	互			
い	に	隔	絶	す	る
こ	と	な	く	、	新
し	い	生			
活	を	も	つ	こ	と
を	希	望	し	て	い
る					
こ	レ	は	、	若	い
二	人	を	見	た	主
人	公	は	、	同	時
に	作	者	か	ら	
の	思	い	で	あ	る
が	、	同	時	に	作
者	か	ら			
私	だ	ち	読	者	へ
の	メ	ッ	セ	ー	ジ
も	あ				
る	よ	う	に	思	う
。こ	レ	か	ら	の	社
会	を				
担	う	の	は	私	だ
ち	若	い	世	代	だ
は	、	ど	ん	な	ふ
う	に	人	と	関	わ
つ	て				
い	け	る	社	会	を
築	き	た	い	の	か
、	そ	レ			
を	と	う	実	現	と
せ	た	い	の	か	、
そ	レ				
を	考	え	て	い	か
な	ら				
い	と	思			
つ	た				

書くアバンス その他の解答例

「私」の望む社会の方向が述べられている。最後の場面に着目ましよう。

「私」は、かつて自分たちのように心を通わせる甥のホルムとルントウの息子シュイヨンのような若い世代が、「新しい生活」をもつことに「希望」を抱いています。その「希望」は、「私」たちの生きる今の状況に対して希望を重ねることとして表現できないような、具体的な、手に入りにくいものだと「私」は考えています。しかし一方で、その「希望」とは多くの人が賛同することを実現する「地上の道」ともつなものであるとも考えています。

課題・条件に 従っているか 誤字・脱字は ないか

4 浜島の夢で 故郷

(2) (1)のA-Cには誰が当てはまりますか。文中から抜き書きなさい。

118 A: 私

118 B: ルントウ

118 C: 他人

5 119 「吾輩の偶像」とは、どういう意味ですか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

ア すべてだめになってしまふ、むなしくはかないもの。

イ 本当は違ふのに、信じているふりしているもの。

ウ 希望をかかえるために、信じろ力を身えてくれるもの。

エ 一人でむやみに、価値があると信じているもの。

6 **CRUUP** をさい。

119 それは地上の道のようなものである。とありますが、118「希望」といふところが「道」といふのですか。四十字以内で書きなさい。

歩	く	人	が	多	く	な	れ	ば	道
が	で	き	る	よ	う	に	、	望	む
人	が	多	く	な	れ	ば	希	望	も
実	現	で	き	る	と	こ	ろ	。	

「私」は最後の場面です。地上の道のように、歩くと人が多くなればそれが道になる、と思っている。確かに、学校や自分の生活環境に関しても、何かを改善しようと思つても、一人だけではなかなか実行に移せないうが、賛同する人が集まると実現しやすいように思う。

仲間がいると、いこうとだけ、心強いが、人と話し合つて、いろいろ意見を出し合うことによつて、実現への道が開けるのではないかと

「私」は最後の場面です。希望と地上の道のように、歩くと人が多くなればそれが道になる、と思っている。

確かに、学校や自分の生活環境に関しても、何かを改善しようと思つても、一人だけではなかなか実行に移せないうが、賛同する人が集まると実現しやすいように思う。

仲間がいると、いこうとだけ、心強いが、人と話し合つて、いろいろ意見を出し合うことによつて、実現への道が開けるのではないかと

と思つた。

1 条件1 作品の内容を踏まえ、あなたの考えを書くと。

2 条件2 「希望」という言葉を使うこと。

3 条件3 原稿用紙の使い方に従つて、百五十文字以上、二百文字以内で書くこと。

解説

組 番 名 前

④ 状況の中で 故郷

まじめる 人物の描写を挿入し「私」の心情をまとめる

「故郷」の展開を、場面ごとと次のようにまとめました。文中の言葉を抜き書き。

場面	登場人物の初め	母や郷土の知面	ルントウの思い出	ヤンおばさんとの再会	ルントウとの再会	故郷を離れる	
人物の言動	<p>・あ、これが二十年来片時も忘れることなかっただ故郷であらうか。</p> <p>・もともと故郷はこんなふうなのだ。</p> <p>・母のやるせな表情は隠し切れない。</p>	<p>・雪の日の小鳥捕り、夏の目撃拾い、すいか畠、跳ね魚などの話をするルントウ。</p> <p>・ルントウの心は神秘の宝庫。</p>	<p>・「私」が見えたことが「不」服で「蔑」むような表情を見せる。</p> <p>「忘れたのかい。なにしろ身分のあるお方は目が上を向いているからね……」</p>	<p>・「私」は「身震い」したらしかった。</p> <p>・「いややし、態度で、旦那様……」と呼びかけるルントウ。</p>	<p>・「私」は二人の間を隔てる14⑩「悲」しむべき厚い壁」を自覚します。このとき、「私」</p> <p>・「ルントウとの再会」姿も心も変わり果てたルントウと再会した「私」は二人の間を隔てる14⑩「悲」しむべき厚い壁」を自覚します。このとき、「私」</p>	<p>・「美しい故郷のイメージは完全に失われてしまします。」</p> <p>・「美しい故郷のイメージは完全に失われてしまします。」</p>	<p>・「美しい故郷のイメージは完全に失われてしまします。」</p> <p>・「美しい故郷のイメージは完全に失われてしまします。」</p>
現在の「私」の心情	<p>・寂寥の感が胸に込み上げる</p> <p>・自分の心境が変わっただけと思いきす。</p>	<p>・美しい</p> <p>・美しい</p>	<p>・「私」は二人の間を隔てる14⑩「悲」しむべき厚い壁」を自覚します。このとき、「私」</p> <p>・「ルントウとの再会」姿も心も変わり果てたルントウと再会した「私」は二人の間を隔てる14⑩「悲」しむべき厚い壁」を自覚します。このとき、「私」</p>	<p>・「私」は二人の間を隔てる14⑩「悲」しむべき厚い壁」を自覚します。このとき、「私」</p> <p>・「ルントウとの再会」姿も心も変わり果てたルントウと再会した「私」は二人の間を隔てる14⑩「悲」しむべき厚い壁」を自覚します。このとき、「私」</p>	<p>・「美しい故郷のイメージは完全に失われてしまします。」</p> <p>・「美しい故郷のイメージは完全に失われてしまします。」</p>	<p>・「美しい故郷のイメージは完全に失われてしまします。」</p> <p>・「美しい故郷のイメージは完全に失われてしまします。」</p>	

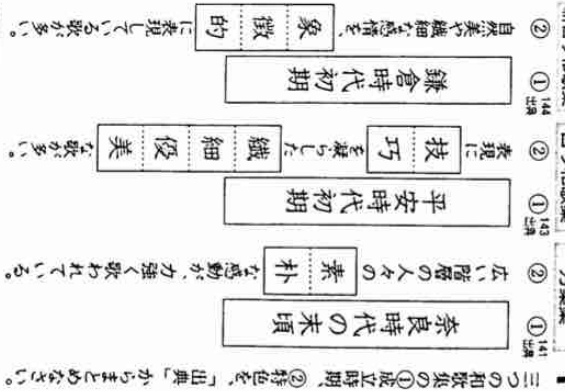
解説

深める ①(1)・(2)・(3)前半(初句・二句)には「春が過ぎて夏がやって来たらしい」と、作者が季節の移り変わりを感じたことが描かれています。後半(三句以降)には「真っ白な衣が干し

(3) 香真山に真っ白な衣が干してある光景から、作者はどんなことに気づきましたか。簡潔に書きなさい。
 ① 作者がそのとき感じたこと。
 ② 想像で描いた風景。
 ③ イ人から聞いたこと。
 ④ ① 目前に見ている風景。
 ⑤ 前半(工) 後半(ア)

1 139「春過ぎて...」について、次の問いに答えなさい。
 (1) この歌を前半と後半に分け、後半の初めの句を書きなさい。
 (2) (1)は、歌のどの言葉からわかるか。書きなさい。

深める 和歌に詠われた情景や昔の人の心情を読み取る



確認する 全文を読んで、確かめる

5 自然の心と語り
 1 万葉・古今・新古今
 ① 万葉集は古歌集
 ② 古今和歌集は万葉集の発展
 ③ 新古今和歌集は古今和歌集の発展
 ④ 自然の心と語り
 ⑤ 自然の心と語り

2 (1)・(2)「炎」は光り輝くものの意味ですが、ここではあけぼのの光、つまり、夜が明ける直前に地平線から差してくる日の光のことです。
 (4) 前方の野にあけぼのの光が、後方には沈もうとする月が見えるという、広大な空間を感じさせる実に雄大な光景です。

(1) (1)は、歌のどの言葉からわかるか。書きなさい。
 (2) 「かへり見すれば」とありますが、振り返って見るとどうな風景が見えましたか。簡潔に書きなさい。
 (3) ① 月が沈みかけている風景。
 ② この歌から、どんな印象を受けましたか。適切なものを、次から一つ選びなさい。
 ア 繊細な印象
 イ 勇壮な印象
 ウ 雄大な印象
 エ 寂しい印象

2 139「東の...」について、次の問いに答えなさい。
 (1) 一日のうち、いつの情景が歌われていますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。
 ア 日の出直前 イ 朝
 ウ 日没直前 エ 夜

深める 手紙の字(三浦俊基万葉、東国古物館蔵)

① 叙景歌 ② 自然の風景をよんだ歌。
 ③ 叙情歌 ④ 喜びや悲しみなど、自分の心の動きを直接的に表現した歌。
 ④ 神々しい ⑤ 気高く、おこそかである。
 ④ 命 ⑤ 天皇の命令。
 ④ 命 ⑤ 天皇の命令。
 ④ 命 ⑤ 天皇の命令。

漢字 次の漢字の読み方を書きなさい。(●は前習)

1 今 2 衣 3 貴 4 頭
 5 命 6 合 7 命
 8 命 9 命 10 命
 11 命 12 命 13 命
 14 命 15 命 16 命
 17 命 18 命 19 命
 20 命 21 命 22 命
 23 命 24 命 25 命
 26 命 27 命 28 命
 29 命 30 命 31 命
 32 命 33 命 34 命
 35 命 36 命 37 命
 38 命 39 命 40 命
 41 命 42 命 43 命
 44 命 45 命 46 命
 47 命 48 命 49 命
 50 命 51 命 52 命
 53 命 54 命 55 命
 56 命 57 命 58 命
 59 命 60 命 61 命
 62 命 63 命 64 命
 65 命 66 命 67 命
 68 命 69 命 70 命
 71 命 72 命 73 命
 74 命 75 命 76 命
 77 命 78 命 79 命
 80 命 81 命 82 命
 83 命 84 命 85 命
 86 命 87 命 88 命
 89 命 90 命 91 命
 92 命 93 命 94 命
 95 命 96 命 97 命
 98 命 99 命 100 命

7 (3) 141 ② 「こた愛しき」は、「こんなにも甚だしくいとし」という意味で、娘への強い愛を就いています。故郷を出発するときに父母がしてくれなことをなつかしんで歌っているのです。

▲歌の題と林の苗木と梅の花

▲大伴高持土佐左衛門 高宮歴史博物館所蔵

9 (1) 「にほひ」の意味を、欄外の注から書き抜きなさい。

(2) 「下照る道」とありますが、どういう情景を表していますか。次から一つ選びなさい。

ア 春の日が差し、道の上に強く照りつけている情景。
 イ 桃の花の色が、下の地に美しく映っている情景。
 ウ 桃の木の実の間を通り、日が差している情景。
 エ 桃の花の色で、辺りが美しく照り映えている情景。

▲馬を川にさらす (宇良集は家徳の「長持集」)

▲多摩川の上流と、万葉集の歌が刻まれた「玉川碑」 (伊豆美神社)

7 (1) 「多摩川にさらす手作り」とは、どんな様子ですか。現代語訳の言葉を抜きなさい。

(2) 「多摩川にさらす手作り」は、下の「さらさら」を導き出す節をもつ言葉です。このような言葉をなんといいますか。教科書P15 P17から探して漢字二文字で書きなさい。

(3) 「何ぞこの鬼のこた愛しき」の意味を、現代語訳から書き抜きなさい。

なんてこの娘がこんなにもいとしいのか。

8 (3) (4) 作者は令、防人として九州地方の守備に就いていました。故郷を出発するときに父母がしてくれなことをなつかしんで歌っているのです。

9 (2) 「下照る」は、花の色などで辺りが輝く様子を表します。明るい色彩のあふれた夢幻的な情景を描いた歌です。

▲記實之 (土佐水紀画 高宮歴史博物館所蔵)

1 (1) 「ふるさと」は、ここではどんな意味ですか。現代語訳から書き抜きなさい。

(2) この歌は、二つもの対比的に描いています。①昔のまま変わらないものはなんですか。②どう変わったかわからないものはなんですか。

① 花(の香) ② 人の心

▲防人時代の兵士の家を再現したものの(奈良文化財研究所蔵)

8 (1) この歌は、主に軍国地方から徴発され、九州地方の守備にあたる兵士が詠んだ歌です。このような歌をなんといいますか。漢字三文字で書き抜きなさい。

(2) この歌は、「父母」が作者に何をしたときのことを歌っていますか。

◎作者の頭をなでて、無事であるように、と言

たとき。

(3) (2)のことは、どんな状況でなされたのですか。適切なものを、次から一つ選びなさい。

ア 防人として、これから故郷を離れるとき。
 イ 防人の移めを終えて故郷に帰ってきたとき。
 ウ 防人として命から救われ父を見送るとき。
 エ 防人の移めを終えた父が帰ってきたとき。

(4) この歌は誰のどんな気持ちを歌っていますか。簡潔に書きなさい。

◎防人である作者の、父母をなつかしむ気持ち。

白雲の生涯の夏草

B 白雲の人生觀を要約せよ

1 三代の榮耀「睡のうちに」について、次の問いに答えなさい。
 (1) 「三代の榮耀」とありますが、歴代三代の勢力が強く、屋敷も広かったことは、具体的にどの言葉からわかりますか。原文中から引き抜きなさい。
 大門の跡は一里二なたにあり。
 (2) 「三代の榮耀」は、「睡のうち」にどうなったのですか。欄外の内容を参考にして、簡潔に書きなさい。
 ③ はかなく消え果ててしまった。

2 高僧に「登れば」とありますが、そこからどんな景況が見えましか。原文中から、地形が具体的に書かれている部分の初めと終わりを五字を書き抜きなさい。(句読点を含む)
 北上川南部へ見えたり。

3 ①「さても登望くつてこの城に籠もり」とありますがこれは誰か、どうしたことをいっていますか。欄外の内容を書きなさい。
 源義経が、忠義の臣をそりすくつて、菩提に立て籠もつたこと。

7 ①「かねて耳敏かしたる」を要約せよ。とありますが、「堂」とは何と何ですか。原文中から書き抜きなさい。(順不同)
 経堂と光堂

8 ①「七葉散り失せて、玉の屏風に破れ、金の柱障に朽ちて、既に庭庭空の草むらと成るべき」とありますが、どんな意味ですか。適切なものを、次から一つ選びなさい。
 ア 光堂は、風や霜で朽ち果て何もかも草むらになるころをイ 光堂に収められた宝物が、全く価値を失うはどのころをウ 藤原三代の居館はおろか、家宝も全て消えうせるころをエ 仙像だけが大事に守られて、いつまでも長く残るころを

9 ①「しばらく下獄の記念とはなれり。」とありますが、なぜそうなのですか。それがわかる部分を、原文中から書き抜きなさい。
 四面新に囲みて、薔を覆ひて風雨を凌ぎ

10 ①「五月雨の…」の俳句について、次の問いに答えなさい。
 (1) ①季語 ②季節 ③切れ字を書きなさい。
 (2) この俳句は、作者のどんなことに対する感觸を歌っていますか。適切なものを、次から一つ選びなさい。
 ア 光堂に五月雨が降り注ぐさまが美しいこと。
 イ 光堂の宝物が、今なお多く保存されていること。
 ウ 光堂が、今なお美しい姿を残していること。
 エ 光堂が、風雨を凌げない遣りになっていること。

B4 藤原氏三代の榮華も、義経たちの功名も、今に残るものはなく、あるのは草むらであることか
 ら、人の営みはいつか必ず消え果てることが
 のであること、しみじみ感じ入っています。
 5 (2) 「兵どもが夢」とは、107 ①「功名」です。
 6 (2) 白く咲く卯の花を見て、老齡なのに最後まで

4 ①「時のつるまで涙空澄」とは、何と何ですか。適切なものを、次から一つ選びなさい。
 ア 藤原三代の旧跡が流れ果てして、残念なま。イ 義経墓前跡の地に來ることがきて、寒に感涙なま。ウ 人間の営みというものは、寒にはかきものだま。エ 戦をして殺し合うとは、人間は愚かなものだま。

5 ①「夏草や…」の俳句について、次の問いに答えなさい。
 (1) ①季語 ②季節 ③切れ字を書きなさい。
 (2) この俳句と同じような感觸を表した部分を、原文中から十一文字書き抜きなさい。(句読点を含まない)
 功名一時の草むらとなる

6 ①「卯の花に…」の俳句について、次の問いに答えなさい。
 (1) ①季語 ②季節 ③切れ字を書きなさい。
 (2) 「卯の花」から、何を連想していますか。欄外の内容を書きなさい。

①「老齡」にもかかわらず、奮戦する兼房の白髪の頭。

9 ①「光堂は、風や霜で朽ち果て何もかも草むらになるころをイ 光堂に収められた宝物が、全く価値を失うはどのころをウ 藤原三代の居館はおろか、家宝も全て消えうせるころをエ 仙像だけが大事に守られて、いつまでも長く残るころを

10 (2) 建物に傷める五月雨も光堂にだけは降りかからないように、今なお美しい姿をどめる光堂を特別な存在として賛美しています。

9 光堂は、それを覆う堂が建てられたので、風雨にさらされず、その美しい姿を残しています。
 10 (2) 建物に傷める五月雨も光堂にだけは降りかからないように、今なお美しい姿をどめる光堂を特別な存在として賛美しています。

⑥ 宣言裡で「物語」を超えて

14 筆者は、世界各地で争いや衝突が絶えない理由をどう考えていますか。それが言かれた連続した文を、探し、初めの五字を抜き書きなさい。

15 182 ① 人間の、自然や動物、そして人間自身を見ることが誤解に満ちているか、とありますが、筆者は、これらの誤解を解くためには何か必要だと述べていますか。文中から二つ探して書き書きなさい。

162 相手の立場に立って、一つの行動にどんな意味があるかを考えること
人から伝え聞いた「物語」と実際に自分が向かい合っている現象とを照らし合わせ、これまでに
の常識を疑ってみる態度

1 182 ② ドラミングが戦いの宣言という「物語」の誤解を超えたい
に当たっていたものについて、182 ① 最初の語が誤解によって作られて
いると、……それが社会の常識になつてしまふ」ことあわせて次の
ようにまとめました。文中の言葉を書きなさい。

まとめ

全体の構成を確認し、内容を整理する

「作られた「物語」を超えて」の構成を次のようにまとめました。「内容」に文中の言葉を書きなさい。

Table with 4 columns: 段落 (Paragraph), 内容 (Content), 本論 (Main Argument), 結論 (Conclusion). Rows 1-12 detailing the structure of the text.

P.116

14 筆者が182 ①「新しい世界と出会うための鍵」だと考えていることはど
んなことですか。最も適切なものを次から二つ選びなさい。
(エ)

182 ① 地球上のさまざまな人々の文化や社会について知るために積
極的に現地を訪れて、最初の印象に基づいて解釈すること。
ウ 文化や社会の異なる人々と交流し、また、世界各地の紛争し
ずめるために、自由自在に話せる外国語を身に付けること。
エ さまざまな文化や社会の人々の立場に立つて物事を考え、自分
勝手な解釈を避けて常識を疑い、真実を知ろうとすること。

P.117